

保険医休業保障制度

募集は年1回

(4月1日～5月30日)

※4面に紹介記事

石川保険医新聞

発行所
 石川県保険医協会
 金沢市尾張町1丁目9番11号
 尾張町レジデンス2F
 電話 (0762) 22-5373番
 発行人 後藤田博之
 印刷所 ユーアイ印刷
 (会費 月額 3,800円)

厚生省はこのほど、老人医療費をさらに抑制し、負担を強化するため、一部負担の定額制をやめ、かかった医療費の一定割合を負担させる定率制に改悪する考えを固め、検討を始めた。負担率は5%の案があり、この場合、平均すると現在の三倍も重い負担になる。

厚生省は二月二十一日、現行の老人医療、福祉制度の抜本的改革をめざした「老人に関する新医療・福祉施設体系構想」、いわゆる中間施設

法によって無料制度から有料制に後退したばかり。同法が提出金算定方式などを三年後に見直すという付則を定めておることから、これをテコに再後退を恐ろうというもの。

この構想は、①現在の病院と特別養護老人ホームの機能を兼ねた「健康福祉施設」(仮称)を全国に普及させる。

この構想は、①現在の病院と特別養護老人ホームの機能を兼ねた「健康福祉施設」(仮称)を全国に普及させる。

この構想を実現するため、厚生省は今年十二月に始まる通常国会で老健法、福祉法の「改正」を行う意向であるが、福祉団体からは「公的補助」から「医療保険」への切りかえによる患者負担の増大を心配する声が上がっている。

「レーザードイスを聞いたらレコードなんて音じゃない」と云われた。ハイテク、ニューメディア時代といわれるが、機械に振りまわされ、情報の波に押し流されて自分を見失う不安と、温かな人間関係の喪失が危惧される。老翁心であってこればいいが。

老人医療、より改悪へ 定額から定率負担に

反対署名にご協力を

担が強いられる」と指摘していたが、老人医療費有料化によって大きな受診抑制が進んでいるなかで、これに追い打ちをかける負担増は、老人を完全に医療から締め出すものとして多くの国民の批判、反撃は必至とみられている。

②従来の特別養護老人ホームを健康福祉施設に吸収、要介護老人の入院が多い一般病院も健康福祉施設に指定、③生活費は自己負担とし、医療と介護費用は一括して医療保険でまかなう、というもので、国民の福祉施設に対する切実な要求を医療費抑制の方向で逆手にとったものである。

この構想を実現するため、厚生省は今年十二月に始まる通常国会で老健法、福祉法の「改正」を行う意向であるが、福祉団体からは「公的補助」から「医療保険」への切りかえによる患者負担の増大を心配する声が上がっている。

を聞いて感激していたら、「レーザードイスを聞いたらレコードなんて音じゃない」と云われた。ハイテク、ニューメディア時代といわれるが、機械に振りまわされ、情報の波に押し流されて自分を見失う不安と、温かな人間関係の喪失が危惧される。老翁心であってこればいいが。

記念講演



講師 日経メディカル編集長 盛宮喜氏

ジャーナリストからみた これからの医師像

- 〈第一部〉 記念講演 (午後二時)
- 〈第二部〉 第十一回定期総会 (午後四時)
- 〈第三部〉 記念パーティー (午後五時)

一、日時 昭和六十年五月二十六日(日) 午後二時
 一、会場 ホリデイ・イン金沢 三階

5月26日は協会定期総会

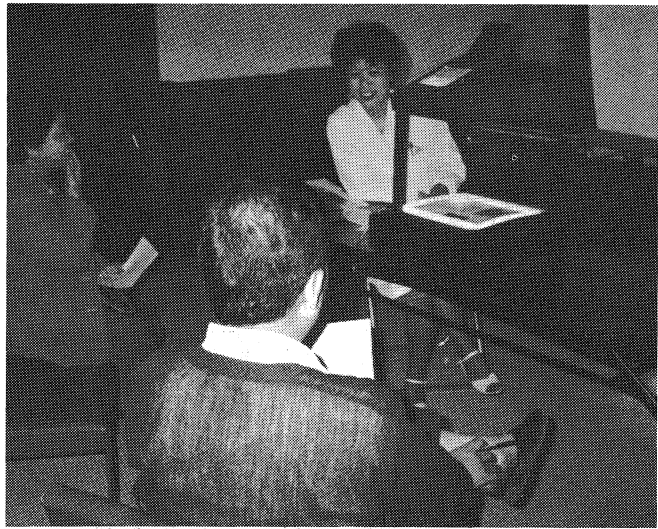
〔総会議事〕

- 一、昭和五十九年度活動報告に関する件
- 一、昭和五十九年度決算並びに監査報告に関する件
- 一、昭和六十年活動方針案に関する件
- 一、昭和六十年年度予算案に関する件
- 一、役員改選に関する件
- 一、総会アピール採択の件



医心凡語

雨で出鼻をくじかれた感のあるンバツも毎日熱線が展開され、桜前線の北上も聞かれるようになって、雪なしの暖冬とはいえ肌寒く、ジメジメした北陸の空にもようやく春がやってきた。我が家の小さな梅の木も枝一杯に花が咲き、穏やかな日差しを浴びている様は何とも微笑しい。▲それにつけても毎年確定申告の時期になると不思議と脱税医、不正医といった記事が新聞紙上を賑わす。所謂「医師優遇税問題」以来、マスコミの医師に対する風当りは強いが、最近の風潮はまさに政府の手先の感があり、「医師の九割が不正」といった誤報も二年続きで意図的と感ぜられるのは私のおひがみか。▲実質一・四%アップと喧伝された診療報酬改定も、繁用薬品の大幅引下げが響いて内科系にはマイナス改定が明らかとなり、昨年十月以来の沈滞ムードに拍車をかけた格好季節はあれど「冬の時代」はまだまだ続く。▲久し振りに「スプリングソナタ」を聞いて感激していたら、「レーザードイスを聞いたらレコードなんて音じゃない」と云われた。ハイテク、ニューメディア時代といわれるが、機械に振りまわされ、情報の波に押し流されて自分を見失う不安と、温かな人間関係の喪失が危惧される。老翁心であってこればいいが。



分りやすいスライドを使つての健康相談
(泉野保健所にて)

政令市は全国で三十一市あり、保健所を運営しています。政令市の保健所は一五三ヶ所あり、泉野保健所もその一つです。政令市の保健所は、保健所法で定められた業務と母子、成人、老人保健など市町村が実施すべき業務を担当しているの、地域住民に密着した保健サービスを総合的に行うことができるので活動しやすくなっています。当所には現在二十三人の保健婦がいますが、その業務は、公衆衛生活動の対人保健サービスの中心となる重要な事業です。保健活動の実施形態はいろいろありますが、家庭訪問、健康相談、集団検診、健康教育

新連載

地域での連携めざして
保健婦活動の実際

泉野保健所保健婦 山本万里子

などを通して、また、活動の対象となる人々は妊産婦、乳幼児、青年期、壮年期、老年

また、健康相談、集団検診などはすべての保健婦で分担し、家庭訪問は通学区域単位で担当保健婦を定め実施しています。保健婦は住民と最も身近かに接触でき、生の声を聞き、実態を見ながら相談指

老人の医療・福祉110番

4月から相談日を変更

五十八年十一月に開始した当協会の電話相談「老人の医療・福祉110番」には一年半の間に一五〇件余の多岐に渡る相談が寄せられました。(この外、昨年十月の「健康保険110番」

には七十二件) これまで相談日は「毎月第二、第四土曜日午後二時～七時」と定めていたが、当初から平日、土曜に関係なく相談が寄せられていました。また、平日の方

が専門医師や医療ソーシャルワーカー、行政機関との連携・協力が得やすいため、四月からは相談日を「平日(月曜から金曜まで)の午後二時～五時」に変更することにしました。

以前にこの電話相談の窓口ポスターを会員送付してありますので待合室等に貼付していただいている場合は「相談日」のところが訂正して下さるようお願い致します。

保団連機関紙部だより

親しみ易い紙面に

第二回部会は金沢で

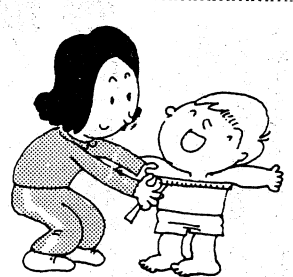
三月半ば過ぎとはいえ肌寒い雨空のもと、六十年第一回機関紙部会が東京で開かれた。午前中は、医療をとりまく情勢報告と本年度活動方針の確認、それに基つてより効果的な機関紙部の宣伝活動に関して活発な討議がなされ、特に機関紙の役割の大筋について議論が湧いた。

人の二割負担の問題を抱えどう対処して行くか、言い換えれば国民にどう訴えて世論を高め医療・福祉の低下に歯止めをかけるか、その方針が事務局より提案され、その一つ一つについて討議された。その主だったものとして、①五月号より新聞の活字を

具体化には積極的に全国の会員からの投稿は勿論、囲碁将棋、俳句、和歌、川柳に至るまできめ細かく紙面作りをする。④情報化時代の

前回の部会でも一度案が出たが、機関紙部より一層の機能向上と保団連機関紙に対する関心を高めるため、部会数を年三回に増やし、その一回を地方の中小都市で開くことになった。候補地に金沢と仙台が上げられたが、第一回目の試みとして当地金沢が大方の賛同を得て決定された。これは大変意義あることで、全国各地の開業保険医に当石川県を知り理解してもらうよい機会と思う。

期と範囲は広いが、医療機関をはじめ関連施設、職種の人々と連携をとり、社会資源を活用しながら地域住民の健康づくりを援助できるように努めています。



これからの高齢化社会に向けて、地域全体での助け合いがよりいっそう大切になり、その中で保健婦の橋渡しの役割は、影の力として大切になっていくと思えます。

今回は総論になりましたが、逐次、健康相談、集団検診(健康診査)、家庭訪問等、具体的な活動を紹介していきます。

理事会だより

(4月9日)

を維持し、加入者に還元されているという制度の優位性を大きく宣伝していく。

。第四回歯科医のための隣接医学懇談会(五面に案内記事)

。歯科保険診療の研究」二十七冊注文あり。

。歯科医への提言」十六冊の注文あり。

四、学術

協会発足以来、毎月第四金曜日に開催してきた「保険診療研究会」は参加者がほぼ固定しているため、六十年からは年三回とし、県外講師も含めて、明日の診療に役立つ、より魅力ある研究会を目指していく。

五、地域医療

。「健康なんでも相談」の運営方法や印象につき、今後、相談医として参加した会員にアンケートを依頼する。

。「健康のしおり」への影響、利用状況、要望等につき近く全会員対象にアンケート調査を依頼する。

六、保険

。大阪及び富山より審査委員を招いて「審査対策研究会」を七月六日(土)午後六時半、金沢都ホテル七階会議室にて計画する。

七、機関紙・文化

。第十一回家族・従業員レクリエーションには定員四十五名の処、すでに七医療機関より三十一名の参加申込みが寄せられている。

第38回健康なんでも相談

健康の大切さを痛感

窪南鶴亀会 宮北米雄

無鉄砲に近い健康管理観による過酷な体の使用と無節操な生活態度に終始し、三分の二世紀を生きてきた私は最近になって無理のきかない老化現象を自覚するに至り、健康について不安を持つようになりました。
そのようなことから健康について相談をする機会を持ちたいと願っていたところ、石川県保険医協会において「健康なんでも相談」をボランティア活動の一環として実施していただけることを知り、三月十七日(日)市内老人福祉センター鶴寿園で老人と健康に

老人は誰しも家人や社会の人々に厄介物視されないよう生き延びたいと願望しているでしょうし、またそうあらねばならないと日常生活に気を配って暮していると思いが、この話しを拝聴しますます四点についての注意をけんけん服用し健康の大切さを痛感させられた次第であります。
今後石川県保険医協会の善意ある社会活動の輪を大きく広げられ、この運動が豊かに実りあるものになるよう折らずにはいられます。
また開業医の皆様は利潤の追求のみに走る世相に反し、



第38回健康なんでも相談 (3月17日、老人福祉センター鶴寿園)

真摯に社会福祉に貢献される姿を目前に見て敬意と尊敬の念を禁じ得ません。

これからはますますのご活躍をお願いしたいものだと思います。有難うございました。

介護者のための健康なんでも相談

「老人介護者の皆さん、あなたの健康が気掛かりです」と呼びかけて、三月三十一日(日)初の「介護者健康なんでも相談」が開かれた。
呆け老人をかかえる石川家族の会では、昨年十月の老人問題シンポジウムの記念講演で樋口恵子氏が強調された、老人介護者の健康管理の必要性に着目し、保険医協会の全面的な協力を得て、全国的にも珍しい試みとなった。

常ぐらいでは受診せず、わかった時は手遅れというケースが少なくないからだ。
懇談では、介護者に多い腰痛、不眠なども話題になったが、つい話はお年寄りの症状、介護の苦労へ移ってしまい、やはり、「自分のことは二の次」が老人介護者の実態のように思われた。当日の参加者が少なかつたのも、そのためかと考えさせられた。

ガン年令層の多い介護者

当日は平松、大野、能登各先生にご足労いただき、平松先生から「ガンの話」と題して、頭の前から順に、自覚症状、自分でできる検査法(乳がん)等、わかりやすい話を

「自分のことは二の次」の老人介護者

=主治医への要望も=

年二回の定期開催の予定



介護者健康なんでも相談 (検尿、血圧測定、個別相談も)

介護家族の健康管理も、第一はセルフケアであることは確かだが、社会的な配慮も欠かせないと思う。特別に介護者対象の健康診断を実施しなくとも、一般の健診に参加できるように短時間のホームヘルパー派遣とか、ショートステイの利用も考えられる。また介護生活の苦労を知っている主治医がお年寄りの診察とあわせて介護者の健康を管理していただけたら、これこそまさに「ホームドクター」であり、家族も安心して家庭介護に専念できるのではないかと。(呆け老人をかかえる石川家族の会 鈴木森夫)



第39回健康なんでも相談

(3月21日、地場産業振興センター)

第三十九回健康なんでも相談は石川県表具内装協同組合(表具屋さんの同業者組合)の主催により三月二十一日、地場産業振興センターにて開催され、協会からは加藤日出治先生(整形外科)、能登康夫先生(内科)が出席しました。
これは四年間の歩みをまとめたパンフレット「健康なん

表具屋さんの組合を対象に

第39回健康なんでも相談

でも相談」が北国新聞に大きく掲載されたことにより、同組合から開催申し入れがあったものです。
最初に職人さんに多い「腰痛症」について加藤先生がスライドを使って話題提供し、司会役の能登先生がその要点をまとめ、二人のやりとりが参加者に好評であり、なごやかな雰囲気での懇談会がすす

められました。
参加者からの質問は職業病ともいえる「腰痛」や「ひじ関節の痛み」、「胃潰瘍」などが多く、又、自営業(国保加入)のため定期健診を受けていないこと、長期間労働を余儀なくされるため身体への不安感なども出されました。
これには相談医の方から健診内容と費用割合も説明して少なくとも年一回は定期的に健康診断を受けるようすすめられました。
この他、「マッサージやはり・灸の効果はどうか」「一時的痛みの処置法について」「空腹時の酒量は」「ビールで下痢症状に」などの質問についても解かりやすい説明があり好評でした。

豊富な給付で大好評

全国で2万人が加入、16年の歴史を誇る制度

年 齢	(1口)
39歳まで	2,800円
40歳から54歳まで	3,000円
55歳から59歳まで	3,300円
60歳から61歳まで	3,300円
62歳から64歳まで	3,500円

加入時のまま75歳まで変わ
りません

安い掛金

他制度をぐ〜んと
引きはなす4つの利点

種 類	給 付 金 額
傷病休業 給付金	疾病については、8日目から1日につき6,000円、災害については、休業日から1日につき6,000円、同一原因による休業は、360日間限度、別原因で休業したときは、通算して、450日限度
入院給付金	入院日数30日を1単位として50,000円、通算3回限度。
長期療養 給付金 (※を参照)	15日を一単位として入院75,000円 自宅50,000円 別原因で休業したときは通算して12回(180日)を限度
弔慰給付金	500,000円+中途脱退給付金
廃疾給付金	500,000円+中途脱退給付金
中途脱退 給付金	加入期間3年以上の場合に限り、過去の受給状況により、給付あり。
満期給付金	中途脱退給付金プラス祝金を支給。

※ 長期療養給付金は、傷病休業給付金の日数限度を超えて休業した時に給付されます。

豊富な給付内容

加入時の掛金で75歳まで

他制度との重複給付も可

代診をおいても給付

給付金は非課税

読者のコーナー



まぎらわしい 年令加算の解説を

新点数になり一カ月が経過し、日常行なわれる診療における点数には、ようやくなじんできましたが、久しぶりでなされるような術式が中心で、一般開業医の方はおこぼれ程

まだまだ混乱が生じております。手術点数はアップになりましたが、あくまでも病院で行なわれるような術式が中心で、一般開業医の方はおこぼれ程

協会の休業保障4月1日から募集開始

押し付け健診による 検査事故

さて先日、日常の診療で数回混乱がおこり、一応はそれなりに理解したのですが、頭の中で充分に分類出来ないものがあり、貴協会新聞等の紙面で一覧表にでもしていただければと思ひ、ハガキを出します。
点数表をみますと、診察・注射、手術等の項に新生児、乳児、乳幼児、幼児加算の言葉があちこちにみられます。文中に年齢を明記してあるものも、ないものもあります。大変まぎらわしいので、わかりやすい表にしたかどうかと思ひますが、いかがでしょうか。
(金沢市・外科・井口英樹)

Aさんはある会社で印刷工をしており、約十五年前、胃潰瘍で三分の一胃切除して以来、慢性残胃炎でかかりつけの医院の検査及び治療を受けていたにもかかわらず半強制的に公立病院での検査を受けさせられた。その結果、異常ありで胃ファイバースコープを強要され胃組織のバイオプシーを行ったが、細血管を損傷し、出血多量に陥った。そのため日常の生活及び軽い労働までも苦痛を訴え、かかりつけの近所の開業医で治療中

である。
ここで問題なのは、最近企業が個人の医師を尊重せず又開業医の検査と治療をも認めず、公立大病院指向で誰かれ区別なく強制検査をさせること、又病院側もこれを推奨していることである。病診連携が叫ばれている中、公立病院ですら採算性を求める余り患者や検査業務をも奪い合う状況になっている。これを医療の荒廃と言う以外、何と云うたらよいか。
(金沢市 内科)

退職者医療制度

被保険者証の交付時期

五十九年十月より発足した退職者医療制度の被保険者証の交付は従来の国民健康保険証の再交付の時期まで「証明証」で代用されていましたが、下記の日程で該当者には「被保険者証」が交付されます。この後は「被保険者証」の確認だけで窓口事務を行うこととなります。



保険証と証明証の二本建から退職被保険者証一本になる時期と市町村名

交付年月日	交 付 市 町 村
59. 10. 1	輪島市, 羽咋市, 志賀町
60. 4. 1	小松市, 加賀市, 珠洲市, 松任市, 山中町, 能美郡内全町, 野々市町, 美川町, 河内村, 白峰村, 宇ノ気町, 内灘町, 羽咋郡内全町, 鹿島郡内全町, 能都町, 穴水町, 柳田村, 内浦町
60. 8. 1	七尾市
60. 10. 1	金沢市
61. 4. 1	鶴来町, 吉野谷村, 鳥越村, 尾口村, 津幡町, 七塚町, 高松町, 門前町

知っておきたい医療保険用語

名 称	解 釈
1. 新 生 児	生後28日以内
2. 乳 児	生後28日経過後, 1歳未満
3. 乳 幼 児	2歳未満
4. 幼 児	2歳以上, 6歳未満

このうち新生児加算、乳児加算のあるものは検査料(心臓カテーター法による諸検査)、理学療法(牽引療法)、手術料、麻酔料、入院料(看護料)です。

乳幼児加算、幼児加算の区分が設けられているのは診察料(再診料)だけであり、その他の診療行為は六歳未満の乳幼児加算となっています。

不眠症は全体の十五%程度にみられ、加齢とともに増加する。従って高齢化社会が進むなかで、今後予想される不眠症患者の増加に対する対策が重要になってくる。

睡眠障害のうち不眠症候群(睡眠の開始と持続の障害)が最も一般的であり、不眠は入眠困難、中途覚醒、早朝覚醒の三つの型に分けられる。

慢性の不眠症患者のうち精神生理学的な要因によるものが最も多い。精神的動揺や精神葛藤によって強い情緒的覚醒状態に陥り、その後、原因となった心因が目立たなくなっても、不安・緊張によって二次的に生じた身体症状や不眠に対する心理的条件付けの形成によって不眠が持続しているような場合である。抗不安・緊張感を軽減する必要が

研究会の講演要旨

睡眠障害の診断と治療

金沢大学医学部第3内科

水島典明先生



ある。神経症や人格障害の場合、不安・恐怖症状、心気症状、強迫症状などの精神症状と睡眠障害の強さの間に平行関係が認められ、基礎疾患の治療が先決である。うつ病における不眠はレム睡眠潜時の著明

息苦しさを感ずるが、本人は呼吸停止に気付いていない場合がある。このような睡眠時無呼吸不眠症候群は不眠症患者の七%程度に発見され、睡眠ポリグラフの記録によって証明できる。抗うつ剤が有効なこともあるが、治療困難の場合も少なくない。

で調整しているが、三時間以上のずれがある場合には、これを調整することが困難である。このような場合、生活リズムの改善が最も重要である。脳の中の生物時計の機能異常のため、睡眠相が一定の間隔で遅れたり、早まったり、あるいは不規則に変動する場合



掲載申し込みは常時受け付けています。不用品や求められているものなど、事務局へ(076-211-2115)までご連絡ください。

ゆづります

- 熱帯魚の水槽 二ヶ
①六十cm×二十九cm
②三十八cm×二十五cm
恒温装置・清浄装置及びエンゼルフィッシュニ匹をつけてお譲りします。

※本稿は三月二十二日、研究会の講演要旨であり、講師の水島典明先生にまとめたいただきます。

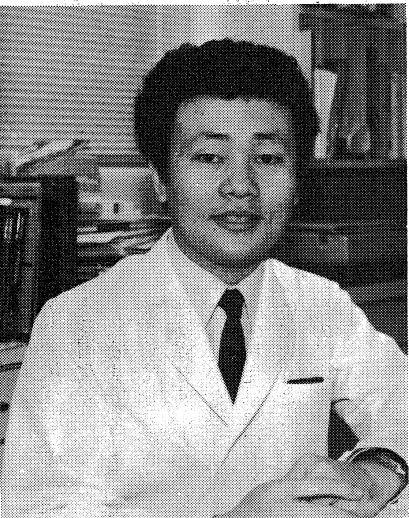
もつとゆとりが欲しい



大滝三千雄先生の巻

昭和五十八年八月、金沢市の南、光ヶ丘の大額にて開業しました。診療科目は泌尿器科、皮膚科、内科です。開業の動機はカッコよく云えば『鶴口牛後』ということになりましたが、今考

れば『魔が差した』という方があたってはいるかもしれませんが、開業が決まっていますから、友人達から「石川県立中央病院の院長という結構な身分なのに、なんで今さら苦勞するの？」と、よく聞か



淡々とした語り口で大滝先生

かか雑用が多く、毎日なにかに追われて、あくせく過ごしているだけといった感

じです。その他、経理問題や人事問題も不慣れたためか頭痛の種です。開業以来一年半、先輩先生方や友人の助言のおかげで大過なく過ぎましたが、依然として楽になつたような感じはありません。

の生かす殺さずの政策が確実に進んでおり、このような乱気流の中を離陸したばかりの軽飛行機のような当院が無事飛行できるのか将来に不安もあります。

の利のためか患者数も増加傾向にありますので希望をもつて、またできれば適度に息抜きしながら細く長く地域医療に役立っていきたいと考えております。先輩先生方の御指導を切にお願い申し上げます。(談)

第4回歯科医のための隣接医学懇談会
講師 平丸内科医院院長 平丸義武先生
とき 5月18日(土) 午後7時
ところ 石川県文教会館四階 第三会議室

「応急処置の実技」講習を開きます
県下六会場
保険医協会では毎年、従業員講習会を各地で開催し、大変好評を得ています。本年度は日赤救急指導員でベテランの大橋俊信さんに「応急処置の実技指導」をお願いし、六月及び七月に県下六会場(輪島、七尾、金沢、松任、小松、大聖寺)にて講習会を開きます。詳細が決まり次第お知らせします。ご期待ください。

協会の行事案内

第14回保険診療研究会

テーマ 外来での心身症患者の見方

講師 金沢大学医学部第三内科 水島典明先生

とき 4月25日(木) 午後7時半

ところ 石川県医師会館 一階研修室

第2回 医療・福祉制度講習会

テーマ 窓口で役立つ医療・福祉制度(その2)

講師 医療ソーシャルワーカー 鈴木森夫氏

とき 5月17日(金) 午後7時

ところ 石川県医師会館 三階相談室

※会員・家族従業員の参加を歓迎します。



いまたるんでいる職業は？

先日、偶然にも某テレビ局がやっているクイズ番組、「一〇〇人に聞きました」を見たのだが、その中で、サラリーマン一〇〇人にこう質問していた。『今貴方が一番たるんでいる職業は何だと思えますか。』との問いに対して解答者は色々な職業を返答していたが、当然的中したもの、しなかったものもあり大変興味深く見ていたが、私は内心ほっとした部分があった。正解は一位から六位まであったのだが、少なくとも医師の名はその中の画面にも解答者の口からもついに一度も出なかったのである。警察官、国鉄教員、政治家、公務員、タレントの六種の職業が槍玉に上

げられたのには、なるほどと思えるものや、あれ／＼意外に思えたのだが、同時に一般国民は意外に良く物事の本質を見ているなと感心させられた。

真実は堂々と主張すべし

ここで考えさせられることは、医師の名が出るのではないかと内心不安の気持ちで見ている自分自身の自信のなさとこんな気持ちにさせたのはやはり極少数のよこしまな医師も現実存在する憤りにもあると思うが、何と云っても今のマスコミの意識的な医師攻撃

に対する腹立たしさが再燃したことにあつた。

しかし大衆は、この真実を医師以上により冷静に見てくれているのだと思うと同時にある種の自信までも湧いて来た気分であつた。ここで結論としていえることは、マスコミが騒ぐ程、また医師自身が思っている程、医師と一般国民の間の信頼関係は悪くならないという事である。われわれ医師は今まで余りにもマスコミを気にするあまり、主張すべきことも主張出来ず、悶々としていただけではない

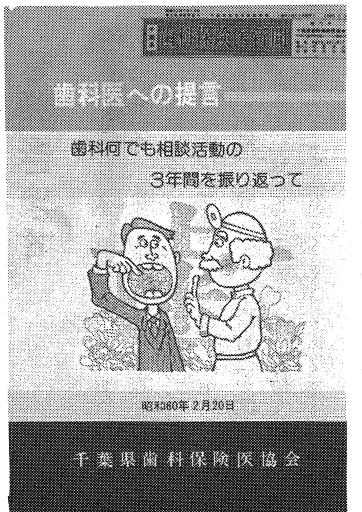
かと今になって疑問を感じざるを得ない。
今後は日医でも、保団連でも真実で正しいと思つたことは躊躇せず、どしどしPRしたらよいと思う。今までの医師の考えは自己PRは何か品位に欠くと思ひ違ひをしていたのではないか。
(金沢市 内科医)

「歯科一〇番」の相談事例集 『歯科医への提言』

千葉歯科協会が発行

千葉歯科協会が昭和五十六年十二月に「歯科何でも相談」コーナーを開設して以来、まる三年が経過しました。この間の相談件数は、新聞、ラジオ等マスコミ各社

の数回に及ぶ報道に加え、各市民団体の好意的な取り組みなどもあつて、のべ六〇〇件に達しております。
今回発行された小冊子は、



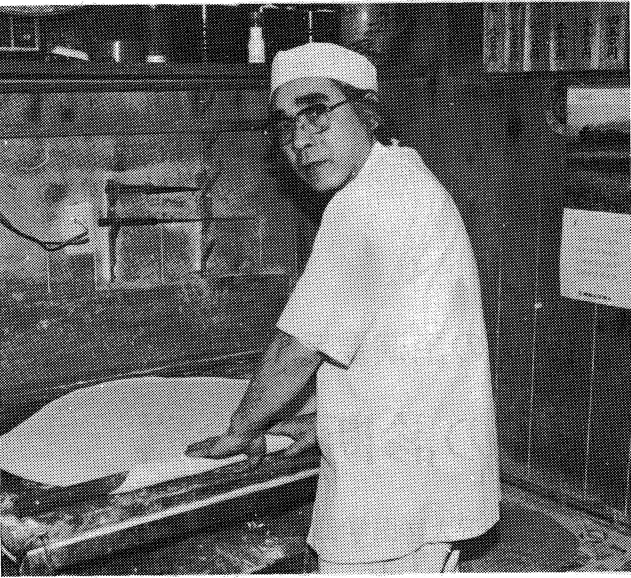
特に歯科医が日常診療のなかで注意を要する代表的な諸問題にスポットを当て、医師と患者の信頼関係を築いてゆく上で非常に重要な診療姿勢について会員諸先生とともに考えることが狙いです。
すでに注文を頂いた先生にはお送りしてありますが、更に追加のご希望がありましたら協会事務局まで一報ください。
(A5版 六十一ページ 五〇〇円)

《予約受付中》

『医院・病院で働く人たちのために』

京都協会が二年前に発行し、各地協会でも活用され、好評だった『医院・病院で働く人たちのために』の改訂版がこのほど作成されることになりました。

下さい。
(概要)
一、よい医療従事者になるために
①心がまえ、②始業準備、③受付、④診察室、⑤投薬・会計
二、応対・仕事のすすめ方
①応対の心がまえ、②仕事を上手にするには、③ことばの使い方、④電話の受け方・かけ方、⑤数字の書き方
三、一般医学用語(汎用語)
四、雑学



うどん製造中のオヤジさん

あの店 この店

手打ちうどんの

さぬき

片町うつのみや書店裏通りを入ったところに手打ちうどん「さぬき」がある。
軽い食事代りや深夜の腹持ちには手頃です。幅広の粘りのあるうどんの味はきつと満足していただけると思います。

↑香林坊	片町
うつのみや	
エコビル	
さぬき	
おがわ	
☎23-0954番	

平日は午後五時より午前二時半まで、土曜・祭日は正午より午前二時半まで。素朴で誠実な店といった感じ。店主の悩みは後継ぎがないこと。器用なおかみの作った紙の造花に時々だまされます。
(大野幸治)

石川協会でも当時、医科会員には一部ずつ贈呈し、大変嬉ばれました。
内容は左記の通りであり、改訂されるのは主として「一般医学用語」のところ。A5版、六十六ページ
定価 三五〇円
※購入を希望される方は協会事務局まで必要部数をご一報

第11回家族・従業員レクリエーション

天竜下りと木曾路めぐり

9月22日(日) 金沢駅前午前8時出発——恵那峡——弁天・天竜川下り

——天竜峡・りんご狩——龍峡亭(宿泊)

9月23日(祝) 妻籠(奥谷郷土館)——馬籠(藤村記念館)——馬籠・元起

——中津川——金沢到着午後5時50分

参加費 おとな 30,000円 こども 25,000円

募集人員 45名(先着順です。お早目にお申込みください。)

※ご家族・従業員そろって楽しんでいただける協会恒例のバスツアーです
病医院のレクリエーションとしてぜひご参加ください。

お問合せ・お申込みは 石川県保険医協会 ☎ 0762 (22) 5373番へ

